



令和5年第2回定例夕張市議会  
令和5年度 教育行政執行方針

令和5年6月7日



1	はじめに	1
2	学校教育の推進	1
	(1) 確かな学力を身に付ける教育の推進	1
	(2) 豊かな人間性を身に付ける教育の推進	3
	(3) 健やかな体を育む教育の推進	3
	(4) 小中一貫並びに幼児期から高校卒業までを つなぐ学びの充実	4
	(5) 特別支援教育の充実	5
	(6) 信頼される学校づくりと家庭・地域との連携	5
	(7) 教職員の働きやすい環境の構築	6
3	社会教育の推進	6
	(1) 人と人、地域と地域をつなぐ生涯学習の振興	6
	(2) 体育・スポーツの振興	7
	(3) 石炭博物館模擬坑道について	7
4	むすびに	8

## 1 はじめに

令和5年第2回定例市議会の開会にあたり、夕張市教育委員会の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

予測のできない非連続的な変化が予想されるこれからの社会で、子供たちには自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう学んでいくことが求められています。

地域の宝である子供たちの育成は、我が街、我が国の未来を創造する大きな使命であり、そのため、幼児期から高校卒業まで切れ目のない支援や学びのもと、子供たちがこれからの社会で活躍するために必要な資質・能力を身に付けていくよう様々な働きかけを行っていくことが重要です。

また、人生100年時代を見据え、市民一人ひとりのウェル・ビーイングのために、生涯にわたって主体的に学び続けることができる環境を創っていくことも必要です。そして、その環境が地域における生涯学習の役割を十分に発揮することができるよう取り組んでいかなければなりません。

令和5年度の教育行政は、こうした状況とウィズ・コロナ、アフター・コロナを踏まえ、夕張市教育大綱を基に、知・徳・体の確かな学びを核とした質の向上を図る学校教育活動を展開するとともに、拠点複合施設「りすた」の賑わい創出を中心とした社会教育事業等の振興を着実に推進していく所存です。

## 2 学校教育の推進

### (1) 確かな学力を身に付ける教育の推進

本市の児童生徒の学力については、これまでの取組の成果が徐々に表れてきており、昨年度の全国学力・学習状況調査において、小学校6年生の3教科の学力調査すべての平均正答率が全国を上回りま

した。この結果が単年度のことで終わることなく、今後も継続して「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力」など確かな学力を身に付ける教育を推進していかねばなりません。

そのため、「主体的・対話的で深い学び」や「すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」を目指す教育活動を、今年度も「ゆうばりっこ、学び育成プラン」に策定した次の三つの項目を重点に取り組んでまいります。

1点目は、「学ぶ意欲の向上」についてです。

基礎学力の更なる向上と定着のため、少人数習熟度別授業、TTなど個に応じた指導をはじめ、タブレット端末などICT機器を活用する授業の工夫改善、学び直しの時間の展開、家庭学習の充実等に取り組んでまいります。特に、タブレット端末の学習ツールとしての積極的な活用や文部科学省が実施するデジタル教科書の活用検証事業を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に努め、子供たちの思考力、判断力、表現力や情報活用能力の育成を目指すとともに、オンラインによる授業配信にも取り組み、学びを止めることなく、児童生徒の学ぶ意欲の向上を促進します。

また、本市では、小中高一貫マンツーマンオンライン英会話授業を過去5年間実施し、英会話並びに英語力の向上と国際理解教育の充実を図っております。今後もこの取組を継続し、グローバル人材の育成と特色ある英語教育の実践により、夕張高校卒業後の進路選択の拡充を目指すとともに、夕張の子供たちの自信と誇りを育みます。

さらに、今年度新たに小中学生の希望者を対象に、タブレット端末を活用した「ゆうばりサポートオンライン塾」を開設し、自ら学びに向かう力や確かな学力の一層の向上と定着を目指します。

2点目は、「小中協働の強化」です。

「小中連携学力向上プロジェクト委員会（通称：ユープロ）」の活動の充実を通して、小中間で一貫性のある授業スタイルや学習規律の共有を図るとともに、合同研修や乗り入れ授業、小学6年生児童の中学校校舎での学習活動の実施等小中の交流事業を実践します。

また、9年間を通じた学力の経年変化の分析と改善策の検討を行うなど、義務教育9年間を通して一貫した学力向上策を追求してまいります。

3点目は、「教師の授業力の向上」です。

「新たな教師の学びの姿」の実現を目指す、教師主体の研修制度がスタートします。引き続き、オンライン研修や夕張高校が開催する研修会への積極参加、外部講師を招聘した研修活動に取り組み、教師の授業力の向上に努めます。

これらを通し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に努め、「主体的・対話的で深い学び」の充実や学習ツールとしてのICT機器を有効活用した授業改善のためのスキルアップを図ります。

## (2) 豊かな人間性を身に付ける教育の推進

本市の子供たちは、「純粹で素直である」との評価があります。このことを大切にしながら、新たに作成した「ゆうばりっこ、豊かな心と健やかな体育成プラン」に基づき、多様性を尊重する態度や他者を思いやる心、自己肯定感などを育み、「心豊かで、社会に適応する協調性」を持った「ゆうばりっこ」の育成に努めてまいります。

このため、「Q-Uテスト」を活かした学級集団づくり、「ピア・サポート」を取り入れた道徳教育等による児童生徒間の絆づくりに取り組みます。また、組織的な生徒指導、教育相談体制の確立や外部専門機関との連携及び情報交流等の充実を図り、いじめや不登校の未然防止に努めます。さらに、不登校児童生徒の支援については、教育支援センター（適応指導教室）の設置へ向けた準備、検討を進める考えです。

## (3) 健やかな体を育む教育の推進

本市の児童生徒の体力・運動能力については、例年の全国調査の結果から、筋力や瞬発力を必要とする種目は比較的良好ですが、走力、持久力が求められる種目の数値が低いという傾向が見られます。

そのため、自ら進んで体力・運動能力の向上に励む活動を、体育館等において主体的に行える環境の設定や体育の授業の工夫改善、新体力テストの全学年実施などに取り組み、課題の克服に努めてまいります。

また、傷病の予防や栄養バランスの指導、交通安全教室や水難防止教室、救命講習の開催等を通じ、健康で安全な生活への主体的な実践意欲の向上を図る健康教育を充実してまいります。

#### (4) 小中一貫並びに幼児期から高校卒業までをつなぐ学びの充実

小中一貫した教育は、9年間を通して子供たち一人ひとりの学びを支え、可能性を伸ばし、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指す重要なテーマと考えております。

そのため今年度は、学習指導や教育課程の編成・実施、児童生徒指導など各分野における小中一貫した学びの実現に向けて、さらに協議を深めていく所存です。

具体的には、ユープロの活動による学力向上策だけでなく、心と体の育成における生活規律や体力向上策の連携・協働及び、児童生徒理解や学級経営の交流等、小中一貫した取組を進めます。また、先進事例の調査研究や設置された小中一貫校又は義務教育学校への視察研修を行っていく計画です。

次に、夕張高校との連携については、小・中・高間での教育活動や生徒指導等の情報交流及び引継ぎ、並びに授業参観や夕張高校が実施する職員研修に小・中の教員が参加するなど、積極的に行ってまいります。

一方、夕張高校存続のための入学者確保は大きな課題であります。市長部局が推進する夕張高校魅力化プロジェクトに教育委員会として積極的に関わるほか、義務教育9年間の一貫した学びを通して、確かな学力を定着させるとともに、前述いたしました各施策を着実に展開し、子供たち同士の親和的で心理的安全性の高い友人関係を築き上げ、『みんなで夕張高校入学を』という意識の醸成に繋げてまいります。

また、「小中高一貫ふるさとキャリア教育」の推進につきましては、地域の人材や教育資源を活かした学習に取り組み、郷土理解と郷土愛を育む「ふるさと学習」の充実を図るとともに、子供たちが街づくりや地域の将来像を話し合ったり、情報活用能力や課題解決能力を培ったりする実践に努めてまいります。

さらに、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要性を踏まえ、認定こども園・保育園とゆうばり小学校との連携・協働の取組を進め、「架け橋期」の教育の充実を図っていきます。

持続的な街づくりや地域経済の発展のためにも、小中一貫した学びを中心に、幼児教育の段階から高校卒業へとつなぐ一連の継続した支援に努めていきたいと考えます。

#### (5) 特別支援教育の充実

特別支援教育は、一人ひとりの教育ニーズに応じた指導や支援が必要であり、学校間などの接続を重視する切れ目のない支援を行っていくことが大切です。

対象となる幼児児童生徒等に対しましては、「ゆうばりっこ未来ファイル」の作成と活用を通し、各段階での支援や引継ぎの充実を図るなど長期的な視点で支援を行っていかねばなりません。

そのためにも、本人及び保護者との丁寧なコミュニケーションを基盤に、夕張市特別支援教育連携協議会や児童相談所、保健・福祉・医療など関係機関等との連携充実に努めてまいります。

また、特別支援学級担当教諭の専門性向上のため、指導・支援に係る資料収集や研修の機会の充実を図ってまいります。

#### (6) 信頼される学校づくりと家庭、地域との連携

地域に開かれ信頼される学校づくりのためには、学校と家庭・地域が教育目標や課題を共有し、共に協働して教育活動に取り組んでいくことが大切です。

夕張市学校運営協議会は「家庭学習強調週間」や「夕張クリーンデイ」など特色ある取組が定着し、地域と学校をつなぐ大きな役割を

有しております。今年度も活動の充実を図るとともに、地域学校協働本部や市内企業、NPO法人、官公庁などの支援を得て、体験型、課題探究型の学習活動に取り組んでまいります。

今日、予測が難しい社会の中で、学校・家庭・地域社会及び行政機関などが一体となって子供たちの教育に取り組んでいくことが強く求められています。本道では、道民みんなで「教育」を考える日として11月1日を「北海道教育の日」と制定しています。

本市におきましても、今年度、この11月1日を「夕張市教育の日」として制定し、市民の皆さんが家族ぐるみ、地域ぐるみで「教育」を考えてみる、そんな機会にしてほしいと考えています。

「信頼される学校」づくり、「地域とともにある学校」づくりに向け、校長のリーダーシップのもと、学校と家庭・地域が揺るぎない信頼関係を構築し、行政との連携も強め各種取組を推進してまいります。

#### (7) 教職員の働きやすい環境の構築

教職員の時間外勤務を削減し、教材研究や子供たちと向き合う時間を確保するなど教師本来の職務に専念できる環境の整備については、これまで「夕張市アクションプラン」に基づき取組を進めるほか、「校務支援システム」の導入による教職員の勤務時間の管理を行うことで時間外勤務の縮減を図るなど、働き方改革を推進しております。

また、中学校運動部活動の土日の地域移行については、実施に向けた協議を関係者、関係機関等と行っていくなど、なお一層の教職員の職務環境の向上を図ってまいります。

### 3 社会教育の推進

#### (1) 人と人、地域と地域をつなぐ生涯学習の振興

人生100年時代と言われる現代社会において、子供から大人まで多様な市民が主体的に学べる生涯学習の実践など、潤いのある生

活実現のための社会教育事業の推進は極めて重要です。また、郷土の文化や芸能を保護し、歴史を重んじ愛する市民の育成が「再生夕張」には不可欠です。

このため、生涯学習活動の企画・展開、芸術文化作品等の展示・鑑賞など、夕張市社会教育中期計画に基づき、オープン後3年が経過した拠点複合施設「りすた」を活動の中心として、「賑わいの創出」を目指します。

具体的には、今年度も「りすた Challenge 協働事業」、「未来を創る市民学習講座事業」を企画運営していくほか、「もも倶楽部」、「朝活キッズ」、「雪月花展」、「市民文化祭」、「実践英会話教室」などこれまで行ってきた事業を継続して開催するなど、市民の学びの場、集いの場を積極的に提供してまいります。

また、コミュニティスクール等と連携した花壇の造成による「郷土愛教育事業」の実施、「ゆうばりっ子ひろば」や「りすた図書館」を活用した事業の展開など、多様で幅広い市民層が利用していただける環境づくりを追及してまいります。

## (2) 体育・スポーツ活動の振興

市民の皆様の体育・スポーツ活動に親しみ、健康の保持増進や生きがいを実感する機会の充実を求める声に応えるためには、地域に密着したスポーツの推進とそのためのスポーツ施設の整備・充実に取り組み、施設利用の促進を図っていくことが必要です。

そのため、総合型地域スポーツクラブに対してのサポートをこれまで同様に行っていくとともに、スポーツ関連施設の維持や管理に必要な予算の確保と執行について努めてまいります。

## (3) 石炭博物館模擬坑道について

石炭博物館模擬坑道の復旧に係る、現在の作業状況及び今後の対応について申し上げます。

昨年度は、再開へ向けた坑道内復旧工事を開始いたしました。令和5年度内の工事完了、遅くとも令和6年度当初の模擬坑道観覧の再



開を目指していく所存です。しかしながら、現在の国内外の情勢などにより、必要な建設資材の調達やその運搬、作業員の確保等、計画通りに工事が進まないことも想定されます。

市民のみなさまには、何卒ご理解をお願い申し上げます。

#### 4 むすびに

以上、現状を踏まえ、継続的な課題の克服や重点事項に対応する新たな取組など、令和5年度の教育行政執行方針を述べさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類へと変更され、徐々に感染拡大前の社会・経済活動に戻りつつあります。

本市におきましても、子供たちの笑顔あふれる学びの姿や拠点複合施設「りすた」等における賑わいのある社会教育事業の開催など、多様な市民の皆さんの生き甲斐や心豊かな生活のため、今年度の各施策にしっかりと取り組んでまいります。

なお、学校教育の推進に係る内容を中心に、その主な事項を『令和5年度夕張市教育推進計画』として、整理いたしました。市民の皆さんにもご覧いただけるよう、ホームページ等に掲載いたします。

「課題先進都市」といわれ、厳しい環境におかれている本市ではありますが、財政再生に係る再生振替特例債の償還は残り4年となりました。財政再生団体脱却後を見据えながら、今後も本市の教育行政を着実に推進してまいります。

市民の皆様、そして市議会の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、今年度の教育行政執行方針といたします。